



近畿支部会報2017年12月号

寒い冬、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。どうかお元気で寒さを乗り切ってくださいように、願っています。

2017年は如何でしたか。日本サーバスにとって2017年の1つの大きな事は、Servas On Line(SOL)だと思います。皆さんには SOL にログインをして頂けたでしょうか。まだの方がいらっしゃれば、して頂けますようお願いいたします。また、Kinki という地名がシンガポールにもある事から、place me on the map をしないと、シンガポールに居住しているように地図上に出てきます。それでこれも合わせてして頂けますようお願いいたします。わからない事はどうぞ地域毎の担当役員にお尋ね下さい。日本サーバス会長が国際サーバス会長宅にステイされた時、SOL の事が話題になり、国際サーバス会長は若者を獲得するにはインターネット対応が必須だと言われたそうです。インターネット対応の「カウチサーフィン」は若者の間に浸透しています。慣れない SOL にため息が出たり、戸惑いだらけの現在ですが、その時期を乗り越えて、サーバスが末永くホームステイを通じて国際平和に貢献できる組織であるように願っています。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1 総会報告	交野市	S.S
2. トラベル報告	北欧の旅	交野市 K.K
3. トラベラー受入れ報告	リピーターの訪問	大津市 S.Y
	初めてのディホスト	京都市 W.H
	素敵な日本	Israel トラベラー
4. 会員交流「北から南から」	20年の歩み	舞鶴市 S.Y
5. お知らせとお願い		支部長

1.総会報告

交野市 S.S

日時：2017年12月10日(日)

場所：ニュートーキョー第1生命ビル店(梅田)

出席者：近畿支部会員12名

JR大阪駅から徒歩1.2分。なぜここがニュートーキョーなの??ここが大阪の面白いところかも??と思いつつ会場場所にはいました。久しぶりに会う会員の皆さんは「その後、お体は?」「仕事きつくない?」「今年はどちらへ行かれました?」などと思いのおしゃべりに花が咲きました。



さて、会計報告や予算案の報告もすんなり通りました。そして、昨年の国内会議から本部会計の一本化の話が出ていることが話題になり、皆はその話題に集中しました。身銭切ってやってきた Servas 活動じゃない。そして貯めてきたお金を一本化??久しぶりに議論は白熱!!金勘定にはうるさい関西人!地方自治と民主主義は守ってもらわないと...等等...。久しぶりに皆さんが発言し論議に熱

がはいり、時間いっぱいになってしまったけれど、近畿の意見は一つにまとまった。という総会でした。

議題の討議

(報告 支部長)

1. 下記の2017年度事業報告を承認しました。

例会

実施日	場所	内容	参加者
2/11	茨木市 「かごの屋春日丘店」	*国内会議への支部報告文書について検討 *今年度の例会の持ち方(詳細)について検討 *近畿支部、日本モンゴル障がい児交流会 2016 年度決算書、近畿支部 2017 年度予算書の承認 *日本サーバスリーフレット、支部の新しい旗の披露	8 名
6/3	大津市「マドカフェ」	*2017 年日本サーバス国内会議の報告と討議 *日本モンゴル障がい児交流会、次回取り組みの現状報告	13 人
10/14	奈良市「てらかわ」	*講演 会員 Ni さん「フィリピンにおける JICA の体験」 *Servas On Line (SOL)について *折り鶴ギフトについて *日本モンゴル障がい児家族交流会の来年度の取り組みについて *東日本震災被災者支援の受入れについて	12 名
12/10	ニユートーキョー 第一生命ビル店 (梅田)	総会と懇親会	12 名

会報

会報は 5 回発行しました。

被災された方の保養の取り組み

原子力発電所の事故で被曝された方が、被災地から最低 2 週間離れることで発癌率が低下するという事で、今夏も Wa 会員が To さん家族 3 人を受け入れました。

モンゴルとの取り組み

日本モンゴル障がい児交流会として、次期交流に向けて会合や交流場所の下見を重ね、準備を行いました。

2. 役員について

役員の任期は 2 年なので、次年度も今年度通りですが、会計監査の O さんが体調不良のため、総会の日付で Ni.N さんになりました。

3. 2017 年度近畿支部会計中間報告、及び、2018 年度近畿支部仮予算案について討議の後承認し、次の 3 点を決定しました。

*今まで会員個人の持ち物で対応してきたプロジェクター、外付けハードディスク、USB、SD カードを今年度支部会計で購入する。

*次期モンゴル交流のため、前回関東支部から 10 万円支援してもらったので、今回近畿支部も支援金を来年度の支部会計から 10 万円支出する。

*休会者 B の年会費は 1500 円であるが、皆メール対応のため、郵送費や印刷代が不要になっているので、その分 500 円値下げする。

3、2018 年度事業計画を次のように決めました。

例会・会報

次のように例会を行います。

2 月	春の例会
5 又は 6 月	初夏の例会
秋	秋の例会
1 2 月	総会
未定	お楽しみ例会

会報は原則として、例会後に作ります。

モンゴルとの取り組み

モンゴルの障がい児家族・関係者を日本に招待し、日本の障がい児を取り巻く実情を知って頂き、日本の障がい児家族との交流を通じて励まし合う関係を深める。

日時 : 2018 年 5 月 2～8 日

内容 : 日本モンゴル障がい児家族の交流 (宿舎フィンランド学校での交流、京都・滋賀等の観光・ショッピング) 等

参加者 : モンゴル日本両国とも障がい児家族 10 人 スタッフ 5 人を基本とする。

費用 : 日本の参加者は全額各自負担 モンゴルの参加者は日本滞在中の費用は無料 (土産等個人に属するものは除く) そのため、支援金を募る。

東日本震災で被災された方の保養の取り組み

今まで Wa 会員を中心に行ってきたが、近畿支部の他の会員も受け入れを行う。

2. トラベル報告

北欧の旅 (2017 年 7 月 29 日～8 月 18 日)

Norway ~ Sweden ~ Finland

交野市 K.K

今年も夏は涼しい所で過ごしたいと考え、北欧に行くことにしました。計画を立て始めるのが遅かったことと、ホリデイシーズン真っ盛りということもあって、ホストを見つけるのは大変でした。ノルウェーでは Bergen ベルゲンのホステルで 5 泊しましたが、スウェーデンとフィンランドではサーバスのお世話になることができました。

7 月 29 日～8 月 3 日 Bergen (Hostel Montana 泊)

北欧に行きたかった理由の 1 つは、ノルウェーのフィヨルド観光です。数年前にニュージーランドで初めてフィヨルドを見た時に、その美しさに感動し「いつか北欧のフィヨルドを見たい」と思っていました。Bergen からは、ソグネフィヨルドとハダングルフィヨルドとにそれぞれ日帰りで行きました。久しぶりに泊まったホステルでは、相部屋になったスイス人の女の子 2 人と親しくなり一緒に晩御飯を作



って食べたり、フィヨルドクルーズでは英国人観光客と仲良くなって一緒に景色を楽しんだり、楽しく過ごしました。

8月3日～6日 Stockholm (Ad & Jo 宅)



スウェーデンの首都 Stockholm ストックホルムから電車とバスを乗り継いで30分ほどの郊外に住む Ad は、デザイン関係の仕事でバリバリ働くお母さんで、10歳と12歳の女の子がいます。さすが男女共進が進む北欧だけあってか、家でご飯を作るのはいつもお父さんの Jo です。晩御飯には、「これが伝統的なスウェーデン料理だよ」と言って、ニシンの酢漬けとじゃがいも料理、ライ麦パンを頂きました。スウェーデン料理は野菜とチーズ、ライ麦パンが中心で、健康的で美味しかったです。土曜日は Ad の仕事が休みだったので、一緒にストックホルムの町を案内してもらいました。その日はたまたま毎年恒例の Pride Parade プライドパレードの日で、町中がお祭り騒ぎでした。全てのバスと路面電車、たくさんの店やビルがレインボーフラッグを掲げ、レインボーカラーのコスチュームで着飾った人が街を彩ります。私たちもパレードの沿道に陣取って、LGBT の人たちやサポーター達が思い思いにパレードする姿を拍手で見守りました。最近日本でも LGBT について新聞やニュースで取り上げられるようになりましたが、まだまだ偏見や差別が多いのが現実です。もちろん北欧でも差別は残っていると聞きましたが、ストックホルムのプライドパレードのように、LGBT の当事者とそれをサポートする人たちが、その名の通り誇らしげに堂々と街を歩き、市民社会が一体となってそれを支援する姿が見られるというのは本当に素晴らしいことだと感じました。

8月6日～8日 Sollentuna (Ja & Sh 宅)

次のホストはストックホルムから電車で30分ほどの郊外の町 Sollentuna ソレントゥーナに住む、Ja と Sh ご夫妻です。家のすぐ近くにきれいな湖があり、散歩したり泳いだりカヌーに乗ったりできる、とても素敵な地域にお住まいでした。私のためにと肉団子やニシンの酢漬けなどのスウェーデン料理を作ってくださり、ライ麦パンが好きだと言うと、いろんな種類のパンと自家製のベリージャムを何種類も用意してくださいました。喜んで食べていると、「お土産にどうぞ」とジャムを1瓶くださいました。次の日は2人が、車で40分ほどのところにある Sigtuna シグトゥーナという中世の町に案内してくださいました。ここも緑がきれいで建物がかわいらしい素敵な街でした。



8月8日～10日 Stockholm (Jo & Ås 宅)

次のホストはストックホルムの街中の、とてもおしゃれな地域にお住まいの Jo と Ås 夫妻と20歳の息子さん Ax です。夕方に住所を尋ねて行くと、瀟洒なアパートメントの中庭のテラスで晩御飯を食べている最中でした。中庭には他にもたくさんの家族がいて、晩御飯を持って来てのんびりと夕食を楽しんでいます。首都の街中とは思えないほど落ち着いた環境で暮らす住民たちが、とてもうらやましくなりました。Jo は夕食の後に「Ke が元気なら街を案内するよ」と言って、8時を過ぎてもまだ日の明るいストックホルムの街を2時間ほどかけて散歩に連れて行ってくれました。好きなカフェや街の歴史などを次々と案内しながら、どこも絵になるような景色の街並みをたくさん見せてくれました。一人で街

を歩いても決して気付かないような地元っ子ならではのスポットもたくさん紹介していただき、本当に得をした気分になりました。翌日も仕事だったので日中は一人で観光しましたが、夕方には Jo が街のお気に入りの場所や、ハンドボールの試合観戦に連れて行ってくれました。また水泳が好きな私のために、ストックホルムでも有数のスイミングスポットと一緒に水泳も楽しみました。暑い夏の水泳に慣れている日本人の私には、気温 20 度ほどの涼しいストックホルムで泳ぐことは相当な冒険で、海水はこごえるほど冷たかったですが、これもまたサーバスの旅ならではの特別な思い出となりました。

8月10日～11日 Helsinki (Ju & An 宅)

ストックホルムから飛行機でフィンランドの首都ヘルシンキへ移動。郊外の素敵なお家に住む Ju は、親切にもヘルシンキ空港まで車で迎えに来てくれました。Ju と私は早速サイクリングでお気に入りのビーチへ。ここでも水温 18 度の寒～い水泳を体験しました。びっくりしたのは、自転車にブレーキがなかったこと。フィンランドで一般的な自転車はブレーキの代わりにバックペダルで、慣れるまではなかなか難しかったです。2泊する予定だったのですが、急に知り合いのお葬式が入って 2人は遠出しなければならぬことに。でも、「大丈夫、とてもいいホストが見つかったから心配しないで」と、2人の友人の新サーバス会員（リスト未登録）を紹介してくれました。次の日は、ヘルシンキからフェリー2時間で行くことができる、リトアニアの首都タリン観光に行きました。戦争の被害を受けなかったタリンは、中世の街並みがそっくり残っているととても可愛らしい街でした。

8月11日～12日 Helsinki (Ra & Ås 宅)



Ju と An の紹介で、ヘルシンキの高級住宅街に住む Ra と Ås 宅で一泊しました。Ås はアーティストで、家の中は彼女が作った素敵な作品がたくさんあり、作品についてもたくさん話をしてくれました。翌日は Ås がヘルシンキの街を案内してくれました。特に私が行きたかったのは、世界遺産にも指定されているスオメンリンナ要塞です。ヘルシンキから市営フェリーでわずか 15 分の島ですが、自然がとっても豊かです。島のあちこちにピクニックをしに来た人がたくさんいて、

まさにヘルシンキ市民の憩いの場でした。夕方には Ra も合流し、晴天のヘルシンキを満喫しました。

8月12日～14日 Hämeenlinna (Pi-Le 宅)

森と湖の国フィンランド。自然派の私は北欧の中でも特にこの国に来ることを楽しみにしていました。おしゃれな都会だけでなく、フィンランドの自然を堪能したいと考え、湖畔の町 Hämeenlinna を選びました。80歳を過ぎた Pi はおいしいフィンランド料理や手作りケーキでもてなし、「何をしたい?」「どこに行きたい?」と私の希望を聞いてくれるととても優しいホストでした。私が「森と湖!」と答えると、アウランコ自然公園までドライブし、森と湖のパノラマが見渡せるタワーへ連れて行ってくれました。最上階まで階段を上ると、眼下は見渡す限りどこも緑の森と湖が広がっています。生まれてはじめての絶景に感動ひとしおでした。他にも森の中をハイキングしたり、ブルーベリー摘みをしたり、きれいな湖で泳いだり、ピクニックをしたりと北欧ならではの豊かな自然をたくさん体験することができました。全て、私が思い描いていたフィンランドの森と湖そのものでした。



8月14日～16日 Hämeenlinna (An & Ma 宅)

ハメーンリンナではもう1軒のホストにお世話になりました。夫妻からはメールで「夏は例年ハメーンリンナの町から1時間程のところにある、湖畔のサマーハウスで過ごしています。そこでもよければ大歓迎」と返事をいただき、Piが車で送ってくれました。かつての大きな農家を改装した別荘は、まるで雑誌に出てくるお家のようにおしゃれでかつ居心地よく、本当にのんびりと過ごすことができました。元農家だけあって敷地は広大で、庭には池や畑があります。放し



飼われている4羽の雌鶏と1羽の雄鶏は、まるで家族の一員

のようにかわいがられていました。庭の畑にあるブルーベリーやラズベリーはまさに食べ放題で、朝ごはんにしたりケーキの材料にしたりと、この3日間でこれまでの人生で食べたよりもたくさんのベリーを口にしたいと思います。また、私が泊まったフィンランドのホストの家には全てサウナがあり、「フィンランドと言えばサウナ」という印象の通りでしたが、このホストのサウナは薪で石を暖める本格派のサウナ小屋。普段は週に1回程度らしいのですが、日本人の私のために2日連続でサウナを準備してくれました。Maが庭の白樺の小枝を切って束にし、「これで体をたたくんだよ」と正しい方法を教えてくれました。Anと一緒にフィンランドのサウナを楽しめたことはフィンランドの最高の思い出の1つになりました。さらに、「フィンランドに来たら、ベリー摘みとキノコ狩りを体験しないとね!」と、夫妻はよくキノコ狩りをする森にハイキングに連れて行ってくれました。初めてのキノコ狩りで、食べられるものかどうか分からない私でしたが、2人に教えてもらって想像以上にたくさん収穫できました。美しい湖畔を散歩したり、湖で泳いだり、湖畔でバーベキューしたソーセージを食べたり、ここでもまたフィンランドの自然を満喫することができ、本当に幸せな時間を過ごすことができました。

8月16日～18日 Heisinki (Mi-Ma & Ja宅)

ハメーンリンナから首都ヘルシンキに戻って最後のホストは、夫婦ともに小学校教員のMi-MaとJaです。初めてメールで連絡をした時から、「その時期フィンランドはもう学校が始まっているので私たちは忙しいけど、学校を見に来てもいいよ」と誘われていました。自分も小学校教員である私はもちろんフィンランドの学



校教育にとっても興味があり、この機会をととても楽しみにしていました。実際に訪れてみると、予想通り1クラスの児童数はどこも20人以下で、先生が一人ひとりの子どもとじっくり対応できていることが何よりうらやましかったです。その20人をさらに半分に分けて授業する教科もあり、40人学級の日本とは雲泥の差でした。フィンランドでは、教師一人ひとりの裁量にまかされている部分が大きらしく、行政や校長からの締め付けや監視がほとんどないそうです。ある教室では椅子の代わりに全員がバランスボールに座って授業をしていて、本当にびっくりしました。「フィンランドは世界で1番年間の授業時間が短く、それでいて世界で1番成績がいいのよ」と自慢するAn-Maはとても誇らしげでした。

今回の北欧旅行では8件のホストにお世話になりました。実際に行ってみて感じたのは、人と自然の距離が近いことです。ストックホルムやヘルシンキのような首都の街中に住んでいても、ジョギングやサイクリング、水泳を楽しむことができる自然がすぐ近くににあります。そして、人々はそれを上手に楽しんでいました。私が「普段は仕事が終わって家に帰るのが9時くらい」と言うと、みんな「信じられない!」という顔をします。5時に仕事が終わればみんな5時に家に帰る、それが当たり前で、生活の

中にゆとりを持って生き、自然を楽しんでいます。日本にも身近に自然が無いわけではないですが、日常生活でそれを享受できている日本人がどれだけいるかという疑問です。最近「働き方改革」などとよく言われますが、自分の働き方や生き方について改めて考えさせられました。また自然を楽しむだけでなく、大切にしていることもよく分かりました。フィンランドではゴミの分別はもちろん、生ゴミはゴミに出さず、コンポストで堆肥にしていました。また田舎ではないけれども、「バイオロジカルトイレ」と言って、水を使わず微生物の力で排泄物を分解させ堆肥にして再利用するという、エコなトイレを使っている家庭もありました。もちろんスーパーにレジ袋はありません。日本でも取り入れるべきことがまだまだたくさんあるなあと感じました。もう1つ気付いたことは、男女の差がほとんどないことです。私がお世話になったお家ではほとんど男性がずっと食事を作っていました。町を歩いていてもバギーを押して歩く人の割合は、男女ほぼ同じです。日中スーパーで買い物をする人も、公園で小さいお子さんを見ているのも男女の差がなく、私にはどれもとても新鮮に目に映りました。逆にバスの運転手や空港の警備員など、日本では「男性の仕事」と思われがちな職業で女性の姿が目立ち、「ジェンダーギャップ」のトップを北欧諸国が占めていることを納得させられました。(ちなみに日本は133ヶ国中の111位だそうです…。)

サーバスの旅で、いつも私はいろんなことに気付かされたり、考えさせられたりします。そして何より、たくさんの方から親切にいただき、人の優しさや出会いの素晴らしさを体感します。サーバス活動に関わる全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。

3. トラベラー受入れ報告

リピーターの訪問

11月16日から19日まで3泊4日で、Laさんご夫妻(Fr & Lu La)が我が家に来られました。以前にも来られた事があり2回目になります。19日は孫のお宮参り、百日のお祝いに一緒に神社に行き、おはらいも一緒にして頂きました。その後、我が家でお食初めの食事会があり、11名で楽しみました。Laさんは食事の準備や、テーブルセッティングも一緒にして下さい、帰られてから「家族の仲間に入れてもらって嬉しかった」とメールがきました。

大津市 S.Y



初めてのディホスト

京都市 W.H

初めまして！私は今年SERVASに入会しました。そして初めてディホストをさせていただきました。

紅葉真只中、快晴の11/21イスラエルのCa夫妻 オーストラリアのGaさんを伏見稲荷神社に案内しました。観光客の多さは噂どおりで、みなさん千本鳥居はamazingの連発でした。Ca夫妻はこの後予定を組まれていたのでここでお別れ。Gaさんと私は京阪電車で清水寺へ。Gaさんは池に映る紅葉のもみじに感動されたようです。ランチは私の友人が最近オープンしたお店に行きました。いわゆる野菜中心のおばんざいで、すごく喜んでもらえました。そこから歩いて10分、Hiさんお勧めの河井寛次郎記念館では、建物



自体もさることながら、迫力の登り窯などすごく興味をもたれたようです。さらに歩いて三十三間堂を案内しました。私のつたない英語力でしたが、会話も楽しめました。

先日 Hi さんのお誘いで SARVAS 初のカナダ・アメリカ旅行を体験し、ホストの方々の温もりある歓迎を受けました。感動満載の旅でした。その時、どこまでできるかわかりませんが、日本に来られた際には心からおもてなしをしてあげなくてはと感じました。京都に住んで50年になりますが、今回初めて訪れた所もあり、私自身も楽しませていただきました。そしてリアル英会話は英語力アップになったと確信しております。

素敵に日本

Dear To and Ei

We are on our way back home and we want to thanks you so much for having us with such generous, kind and entertaining spirit. We had great time in Japan. It's a beautiful country with such nice people, always helpful! We've met several more Servas families and it was so interesting and successful beyond our expectations!

We will be more than glad to host you in Israel!

All the best, Thanks again, Arigato gozaimasu

Israel Ir and Mo



4. 会員交流「北から南から」

20年の歩み

街に美術品を見られる場を作ろうとギャラリーの開設を決めた時、サーバスでイタリア、フランス、スペイン3カ国のアート関係者に会いに行こうと思いつきました。イタリア・ミラノで美術館関係者、トリノで画廊経営者、バルセロナで写真家のサーバスホスト宅で、多くの事を勉強させていただきました。その時の経験は、20年たった今も、画廊を運営する上で、美へ取り組む姿勢に大きな影響を与えています。芸術文化の大切さ、素晴らしさ、そして、絵のある暮らしの楽しさを提案し続けられています。

20周年記念の催し「ギャラリーサンムーン20年の軌跡展」

会期7月14日(金)～7月22日(土)

地方でも質の高い芸術作品に出会える場所をと JR 東舞鶴駅の近くにギャラリーを開設して20年が経ちました。開催した展覧会は地元のアーティストから古今東西の著名画家まで570回を超えました。モットーは「街に文化を、心に豊かさを」。芸術文化の普及が人々の心を潤し、他者への思いやりや理解を育み、住みよい社会、魅力的な街となることを願って様々な展覧会を開いてきました。作品の展示だけでなく、作家の来場や講演会、時には音楽会を開いて、芸術家との交流や芸術文化の素晴らしさを伝えてきました。作品を創作する芸術家や伝統工芸の技を受け継ぐ職人たちを支える事もギャラリーの役目です。そのギャラリー活動に理解を示し支援をしてきた市民たちの心意気が20年の軌跡を作りました。街に芸術文化の香りを届けてきたギャラリーサンムーン20年間の活動を支えて下さった全ての方に感謝申し上げます。

舞鶴市 S.Y



筆者とサーバス会員

ギャラリーサンムーン S.Y

その他 7月の催し

- ☺ 開廊20周年企画 津軽が生んだ天才画家+「山谷芳弘」の世界展 会期 6月28日～7月9日
- ☺ コンサート「山田耕作を歌う」 7月2日午後2時～
- ☺ 今、戦争の兆しに心痛む美術家たちの作品展 会期 7月26日～8月6日
- ☺ コンサート「バロック音楽の夕べ」 7月30日午後4時30分～

4.お知らせとお願い

支部長

*2018年第1回目の例会を2月12日(月、振替休日)、お昼を挟んで大阪で行います。詳しくは追って連絡しますので、よろしくご予定下さい。

*中国四国支部&九州支部共同プロジェクトとして「折り鶴 GIFT」がスタートしました。それは「原爆の子の像」に奉納された折り鶴と英語の説明文をサーバストラベラーに渡し、折り鶴に託された思いを世界の人々に伝える活動です。トラベラーを受け入れる予定のある方は、「トラベラーの名前、国、受入れ予定日、受入れ会員の住所・氏名」を支部長までお知らせ下さい。会員の所に折り紙ギフトが送られてくるように支部長から中国四国支部長に連絡します。

*次の日本サーバス国内会議は、2018年3月17日(土)12:30~18:00(懇親会18:00~20:00)18日9:15~12:45 〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA地球広場にて行われます。申し込みも含め詳しい案内は後日いたしますが、皆様、どうぞご予定頂いて国内会議に足をお運び下さい。

*2017年度サーバス年会費(一般3000円学生2000円休会者B1500円)をまだ送金されていない方は次の口座へ宜しくお願ひします。

口座番号00990-6-33645 加入者名日本サーバス近畿支部

以上